

授業科目名	マッサージ・テーピング論・実習			授業形態	講義・実習		授業科目区分	専門科目 (応用科目)		
担当教員名	藤田 英二					補助担当者名				
単位数	2 単位			履修年次	3年次		受け入れ人数	40人程度		
授業の概要	本授業は、疲労回復やウォーミングアップ手段としてのスポーツマッサージ法と、スポーツによるケガの予防や再発防止に役立つテーピング法を教授する。それぞれの基本手技の習得を目標としている。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標				成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、専門的な知識・教養 ()	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	スポーツマッサージ法では基本的手技の名称とその具体的な手法について理解する。 テーピング法では、テーピングの目的や基本手技の主砲について理解する。	○						10
		■情意的領域	スポーツマッサージ法、セルフマッサージ法やテーピング法実習に対し、意欲的に取り組む。	○						20
■技能的領域	スポーツマッサージ法やテーピング法において、基本的な手技ができるようになっている。		○					70		
成績評価の基準	出席状況、授業への取り組み態度、およびテーピング法の実技試験にて評価を行う。									
テキスト、教材 参 考 書	参考資料は必要に応じて配布する。									
履修条件・ 関連科目	解剖生理学を履修していることが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)	受講希望者が受け入れ人数を超過する場合は、4月の前期1回目のオリエンテーション時に履修希望者を対象とした抽選会を行う。この抽選会に参加できない者は、必ず抽選日までにメールなどで連絡すること（fujita@nifs-k.ac.jp）。抽選日以降の履修相談にはいっさい応じることはできない。この授業のすべての連絡は、基本的にWebClass上で行う（必ず定期的にチェックすること）。 場合によりテーピング実技に使用するテープは各自で準備する必要がある。					
オフィス・アワー	随時：まずはメールにて相談を（fujita@nifs-k.ac.jp）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	藤田 英二	オリエンテーション								
2	＂	スポーツマッサージの歴史について				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
3	＂	スポーツマッサージの手技について				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
4	＂	スポーツマッサージ実技				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
5	＂	テーピングオリエンテーション								
6	＂	足部のアーチに対するテーピング法				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
7	＂	踵部に対するテーピング法および肉ばなれに対するテーピング法				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
8		足関節テーピングの基本テクニック				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
9	＂	足関節のテーピング法： （基本のテーピング）				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
10	藤田 英二	足関節のテーピング法： （バスケット・ウィーブ）				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
11	＂	足関節のテーピング法： （ドレイクメソッド）				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
12	＂	膝前十字靱帯損傷に対するテーピング法				WebClassでの配付資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと（30分）。				
13		足関節テーピング法のおさらい				テーピング実技試験				
14	藤田 英二	足関節テーピング法のおさらい				テーピング実技試験				

